

大阪府立大学 教員免許状更新講習 講座一覧（2019年度）

コード 開催日	講習の名称 (定員)	講習の概要	受講 対象者
F1 8月7日(水) 9:00~16:50	素材を手掛かりに移動・伝播を考える---グローバル・歴史の試みとして(40人)	グローバル・歴史の試みとして、映像・写真・文字資料などの素材をとおして様々な視点から「近代世界における移動・伝播」について考える。	中(社会)・高等学校教諭(地理歴史・公民)
F2 8月8日(木) 9:00~16:50	成功する魅力的な英語授業づくり(30人)	参加型のワークショップを通して、成功する魅力的な英語授業づくりに必要なコンセプトを学んでもらいます。これらのコンセプトは、生徒に学習意欲を起させる、効果的な授業の計画・実行に役立つものです。講習を通じて、受講者は積極的に共同作業を行い、教育現場へのコンセプトの応用について理解を深めたいと思います。なお、本講習は、ネイティブスピーカーが担当し、英語のみで行われます。	中・高等学校教諭(英語)
F3 8月8日(木) 9:00~16:50	授業で活かす科学トピックス(理科)(30人)	高等学校や中学校での理科の授業において、受講生の興味を高めるとともに学習意欲の向上につながるような物理学・化学・生物学の各分野におけるホットな話題をとりあげ、理学系研究科の教員がそれらの背景や注目されている点、将来予想される展開などについて平易に解説します。次いで、これまでの経験をふりかえり、今後さらにどのような工夫をし、どのように授業にとりくんでいこうと考えているかを論述していただきます。	中・高等学校教諭(理科)
F4 8月9日(金) 9:00~16:50	経済学を用いて社会経済の諸問題を読み解く(50人)	現代の社会経済が抱える諸問題を①産業組織、②マクロ経済、③金融、④財政の4つの観点から、経済学を用いて読み解く。①では過当競争が起こるメカニズムについて考える。②では経済成長の重要性とその源泉について議論する。③で株式投資、銀行貸出に関する問題を考える。④では国と地方における財政の現状・問題点と公的セクターの存在理由・社会的役割等を考える。	中(社会)・高等学校教諭(地理歴史・公民)
F5 8月9日(金) 9:00~16:50	現代社会と物質・化学(40人)	現代社会を支えているものとして、それらを作り上げている物質があります。本講習では、様々な物質を対象に、原子・分子レベルの構造解析から電気・光学・化学・機械的な性質まで具体的な例を示し、新しい材料を作り上げるための反応や原理、プロセス、応用例などを紹介します。今回は、(1)構造材料、(2)炭素材料の性質と製造方法、(3)有機電子移動化学の基礎と応用展開、(4)水素の製造、貯蔵、利用、について講義します。各講義の最後に10分程度で講義内容に関する試験を行います。	中・高等学校教諭(理科)
F6 8月19日(月) 9:00~16:50	物理学のひろがり(30人)	中学校や高等学校での理科の授業において、生徒の興味を高め、学習意欲の向上につながる見せる実験法(演示実験)について講習を行います。また、受講者の物理学に対する興味を高めるため、物質の対称性や量子磁束、非線形光学などのトピックについて分かりやすく解説します。	中・高等学校教諭(理科)
F7 8月19日(月) 9:30~17:50	学校コラボレーションI「特別支援教育と学習理論の現在」(80人)	学校教育が抱える課題に対して、教育分野のみならず社会福祉分野・心理分野が協力連携してアプローチする「学校コラボレーション」。その3回シリーズ講座の第1回として、ADHDやLDなど特別な学習支援の必要な児童生徒への教育、学習や認知についての最新科学の知見を紹介、さらに、教師の実践的知見をどう若い世代の教師に伝えていくのか等の問題を語り合います。3回シリーズを通じた受講が望ましい。	小・中・高等学校教諭、養護教諭
F8(※) 8月20日(火) 9:30~17:20	食品を用いる簡単な実験(30人)	身の回りの食品を用いて中学校や高校の生物の実習あるいは家庭科の実習で行うことが可能と思われる簡単な実験を、実際に経験してもらいます。まず、発酵食品(ヨーグルト、納豆など)を染色して食品内の微生物(乳酸菌や納豆菌)を顕微鏡観察します。簡単な培養方法も紹介します。次に、卵や牛乳の鮮度を簡単に調べる実験を紹介します。	中・高等学校教諭(理科・家庭)
F9 8月20日(火) 9:30~17:50	学校コラボレーションII「スクールソーシャルワークと学校をとりまく社会」(80人)	学校教育が抱える課題に対して、教育分野のみならず心理分野・社会福祉分野が協力連携してアプローチする「学校コラボレーション」。その3回シリーズ講座の第2回として、スクールソーシャルワークという学校教育支援の新たな取り組みを紹介し、現代の学校を取りまく家庭・地域の社会環境について考えます。3回シリーズを通じた受講が望ましい。	小・中・高等学校教諭・養護教諭
F10 8月21日(水) 9:30~17:50	学校コラボレーションIII「学校カウンセリング・不登校問題と教育の多様化」(80人)	学校教育が抱える課題に対して、教育分野のみならず心理分野・社会福祉分野が協力連携してアプローチする「学校コラボレーション」。その3回シリーズ講座の第3回として、不登校問題を一つの切り口に、臨床心理・学校カウンセリングの観点、教育と医療の社会的な観点、フリースクール等の多様なオルタナティブ教育の観点から考えます。3回シリーズを通じた受講が望ましい。	小・中・高等学校教諭・養護教諭
F11 8月21日(水) 9:00~16:50	定番古典教材の解釈と鑑賞(30人)	国語科教科書の中で、竹取物語や平家物語、徒然草といった、いわゆる定番教材とされる古典文学作品の扱い方について、最新の日本語学・日本文学研究成果と関連付けながら、指導上留意すべき点を中心に講述します。	中・高等学校教諭(国語)
F12 8月22日(木) 9:00~16:50	植物保護の視点から食の安全と環境保全を考える(30人)	植物保護とは病害虫雑草から植物を保護し、農作物の生産効率を高めることです。この講習では、学校での食育教育および理科教育を支える重要な基礎知識として、現在の農業生産現場における植物保護の考え方を理解することを目的とします。さらに、それらの知識をもとに食の安全や環境保全と農業生産の教育について考える機会にしたいと思います。そのために、(1)なぜ植物保護が必要なのか、(2)植物保護のためのさまざまな技術、(3)農業とは、(4)循環型農業、について紹介します。	小・中・高等学校教諭 栄養教諭
F13 8月23日(金) 9:00~16:50	中学・高校の理科・物理で解説する航空宇宙工学基礎(30人)	航空宇宙工学の基礎事項を、中学校の理科、高等学校の物理の知識と数学で解説します。内容は、航空機・宇宙機の構造と力学、揚力と抗力(空気力学)、推進、航法・誘導・制御、宇宙工学について、講義します。特に、中学校の理科、高等学校の物理の知識で航空宇宙工学のエッセンスを解説し、中学校、高等学校の授業に航空宇宙工学のトピックスを導入していただくことを目的とします。	中(数学・理科)・高等学校教諭(数学・理科・工業)
F14 8月23日(金) 9:00~16:50	わかった！を引き出す電気と情報の授業のポイント(30人)	電気や情報は目に見えないこともあり、知識の定着が難しい分野です。本講習では生徒の「わかった！」を引き出すための授業を目指し、生徒がつまり易い電気回路の考え方、水路モデルよりやさしい回路の可視化法とその使い方、またコンピュータの核であるCPUの仕組みや計算のしかけなどを中心に、電気や情報の基本知識の直感的な意味や授業のポイントについて丁寧に解説します。また演習を通して理解を深めます。	中(理科・数学・技術)高等学校教諭(理科・数学・情報・工業)
F15 8月23日(金) 9:00~16:50	容量分析の理論および実験(24人)	理科教育において実験は、生徒の理解を助けるだけでなく、科学的な態度や探求心を養ってくれます。しかし、そのためには実験手順だけでなく、理論や安全面などを適切に指導していく必要があります。本講習では、分析化学実験の基本である容量分析を行います。実験に先立って分析の理論を理解するとともに、用いる薬品や器具の使用法や危険性を正しく学ぶことで、生徒の指導に役立つ実験方法の習得を目指します。	中・高等学校教諭(理科)

F8(※)のみ、りんくうキャンパス